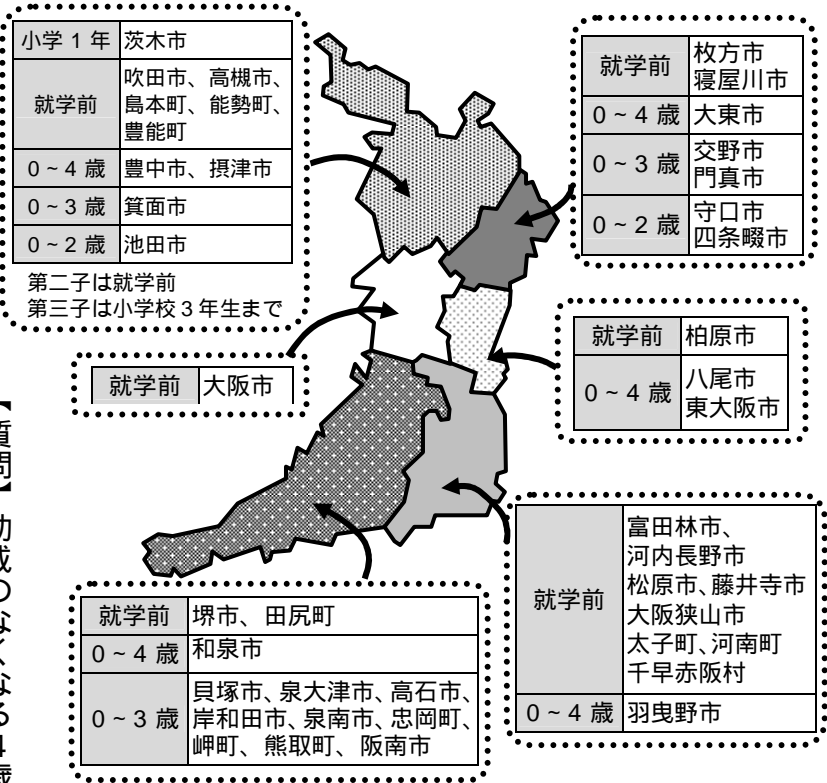


子ども医療費は就学前まで助成を

大阪府下自治体の乳幼児医療費助成制度の状況(通院)



【質問】安全で安心な農業施策としてエコ農産物制度があるが、取り組みは。

【答弁】農薬と化学肥料の使用量を5割以下に削減して栽培した農産物を、府や北河内農協と連携して「大阪エコ農産物」として認証する制度である。交野市では、平成17年1月より取り組み、18年度は、大根・水稲・たまねぎなど10品目で約3万kgを認証し、学校給食に約4千5百kg納めている。

【質問】枚方市では、市と農協の補助のもと、れんげ米づくりに取り組んでいる。交野市のれんげ米の位置づけは。

【答弁】れんげ米は、土壌中に窒素をつくり、稲に使う肥料の量を減らすことができる。また、春には主に紫色の花を咲かせ、田んぼの景観を作り上げている。

枚方市では現在、種子購入費や農協に出荷する時に補助を行っている。補助対象農家は、平成19年度で183件である。交野市は補助していないが、農業関係者とも相談し、検討していきたい。

【質問】助成のなくなる4歳以降も、幼稚園などで病気になりやすい。来年度から国の医療制度改正により、市の負担が軽減される。この機会に、助成の年齢を就学前まで引き上げてほしい。

【質問】助成のなくなる4歳以降も、幼稚園などで病気になりやすい。来年度から国の医療制度改正により、市の負担が軽減される。この機会に、助成の年齢を就学前まで引き上げてほしい。

交野市の現在の医療費助成制度

通院 0~3歳
入院 0~就学前
ただし、1回500円の自己負担が必要



【答弁】来年度から、市の負担は1千万円減額となる。しかし、年齢を1歳上げるには1千500~1千600万円、就学前まで上げるには3千500~4千万円が必要で、財政状況から年齢引き上げは難しい。

【要望】寝屋川市、枚方市が就学前まで助成を拡大している。本市でもぜひ就学前までの助成を強く要望する。

エコ農産物・れんげ米づくりについて

【質問】安全で安心な農業施策としてエコ農産物制度があるが、取り組みは。

【答弁】農薬と化学肥料の使用量を5割以下に削減して栽培した農産物を、府や北河内農協と連携して「大阪エコ農産物」として認証する制度である。交野市では、平成17年1月より取り組み、18年度は、大根・水稲・たまねぎなど10品目で約3万kgを認証し、学校給食に約4千5百kg納めている。

【質問】枚方市では、市と農協の補助のもと、れんげ米づくりに取り組んでいる。交野市のれんげ米の位置づけは。

【答弁】れんげ米は、土壌中に窒素をつくり、稲に使う肥料の量を減らすことができる。また、春には主に紫色の花を咲かせ、田んぼの景観を作り上げている。

枚方市では現在、種子購入費や農協に出荷する時に補助を行っている。補助対象農家は、平成19年度で183件である。交野市は補助していないが、農業関係者とも相談し、検討していきたい。



第2京阪道路の環境対策

【質問】今までも一般道路高架部への裏面吸音板の設置を要望してきた。6月議会では、全員一致で設置の請願を採択したが、市の対応はどうか。

【答弁】事業者が請願内容の申し入れをおこなった。今後引き続き努力したい。

【要望】現況は非常に静かだが、2国が開通すれば、10デシベル騒音上がる。一般道路高架部は、住宅地に近く対策が必要。裏面吸音板で2デシベル下がる。市は沿道整備

【質問】倉治小学校付近の一般道路に遮音壁が設置されていない。事業者は環境基準内としているが、現況より大きく悪化する。教育施設だからこそ対策が必要。

【答弁】引き続き努力したい。

【質問】2国と交差する168号線、久御山線への低騒音舗装の取り組みは。

【答弁】168号線で、昨年度の実施区間に続き、今年度に300mの区間で実施する。

【質問】市内で道路騒音測定している5路線の中、3路線が基準を超えている。対応は。

【答弁】通常舗装を低騒音舗装にするなど関係機関に要請する。



星田駅のエレベーター設置について



【質問】現在の状況と今後の見通しは。

【答弁】今年7月に議会からJR西日本に要請し、JRも平成20年度に設置する方針で、国に補助金を要望している。国の予算内示を待つ、市として来年度予算に提案する。

【要望】来年度、一日も早く実現するよう要望する。

国保料引き下げ・減免拡充と窓口負担金の軽減を

交野市国民健康保険の実態

国保加入世帯数 (1万2987)	
滞納世帯 19.5% (うち分納世帯 13.9%)	
加入者業種別世帯数	
給与所得世帯数	2811
営業所得世帯数	1284
農業所得世帯数	14
年金所得世帯数	5403
所得なし世帯数	3575



【要望】国保料が完納という条件は厳しすぎる、利用しやすいように緩和すべきである。

【質問】国保料の滞納世帯は2割にもなっている。高い国保料の一因となっている未収分については、一般会計から繰り入れすべきであると考えているか。

【答弁】総務省から一般会計からの繰り入れは好ましくないとされている。

【要望】一般会計から繰り入れし、保険料を下げて自治体がある。交野市としても行うべきである。

【質問】国保料の減免件数は、また、減免拡充の考えは。

【答弁】H18年度末の減免は、450件である。減免基準は、生活保護基準の1.5倍であり見直しは考えていない。

【要望】減免件数は、病気やリストラなどの理由で増えている。くらしが大変な今、減免枠を拡充すべきである。

【質問】来年度からの医療改悪で、70歳から74歳の病院窓口負担が2割に引き上げられる。病院に行くのを控える人が増えるのではないか。窓口負担を軽減すべきであると考えているか。

【答弁】現在、災害・事業の休廃止、世帯主の死亡等に限り窓口負担金の免除・猶予をしている。ただし、国保料完納が条件である。

軽減の拡充については、財政健全化完了後に検討したい。

【要望】国保料が完納という条件は厳しすぎる、利用しやすいように緩和すべきである。

その他の質問

防犯灯の設置で安心なまちへ
・幾野5丁目工場街付近要望
子どものインフルエンザ予防接種への助成について
財政健全化の見直しについて